

私たちの道

—— MC WAY を感じる ——

士業の業界動向予測からの気付き

1. 士業を取り巻く変化

・士業を取り巻く業務は、「電子化、自動化」については、マイナポータル等の運用により、10年後の2030年には、ほぼ完成しているのではないかな。

→自動化、システム化にあたっては「バックオフィス全体」視点での業務改善支援、導入支援が必要となってくる。「会計、税務、法務、採用、人事労務、ワークフロー、電子契約」などのバックオフィス全機能のフローが求められる。

・従来の士業に求められるものは、手続きから「コンサルティング業務」へ

→専門性 + a (総合コンサル、CXO、ハンズオン、事業開発、DX、社会心理や行動心理など)

・「AI」、「IoT」、「ロボット」による、「ヒト」を介さないビジネスの範囲が増え、既存の法律 (特に労基法) は変わってくることも考えられる。

→解雇権濫用法理の柔軟化、副業 (複業) やフリーランスに対応した法整備

・また、企業はシステム会社との関係が強くなることから、これまでの「士業」に関わる相談は、「管理系システム会社へ」が主流の一つとなってくるのではないかな。

→システム会社とのPDルート関係も今後必要となってくるものと予想される。

2. 最近の動きの中で

・税理士法人、会計事務所、行政書士法人との面談を通じて

将来への「生き残り」をかけて行動を開始している士業事務所は、既存の業務からデジタルを活用した新規業務の創造、従来の手続き業務からコンサルティング業務への転換を図っている。

→「MC WAY」、「DX への取組み」、「業務改善」、そして「コ・クリエーション」の精神や行動は、「共感」を得られているものと感じる。これらの連携も視野に。

・今後のビジネス環境において、士業の独占業務がそもそも不要となる可能性の中、本当の意味での「専門家」や「コンサルタント」、「ビジネスパートナー」となるための意識や行動、日々の学びが必要であると感じ、これを実践していきます。